

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

( データ集約 : 6/9 )

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (T-1) (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (T-2) (1~4号機放水口から南側に約280m地点)		告示濃度限度* (Bq/L)
試料採取日時刻	2017年6月8日 7時05分		2017年6月8日 7時08分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 ( Bq/L )	倍率 ( / )	試料濃度 ( Bq/L )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND(0.58)	-	ND(0.61)	-	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.58)	-	ND(0.63)	-	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.62)	-	ND(0.46)	-	90

\* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
(別表第2第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度 [ 本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載 ] )  
二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。  
NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

## 海水核種分析結果

(データ集約：6/9)

採取場所 (地点番号)	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)(T-1)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に 約280m地点)(T-2)		/		告示濃度限度* (Bq/L)
	試料採取日	2017年5月1日		2017年5月1日		/	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND(0.50)	-	ND(0.70)	-	/	/	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.64)	-	ND(0.46)	-	/	/	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.68)	-	ND(0.58)	-	/	/	90
H-3 (約12年)	ND(1.6)	-	ND(1.7)	-	/	/	60,000
全	ND(2.3)	-	ND(2.3)	-	/	/	-
全	14	-	13	-	/	/	-
Sr-90 (約29年)	0.0030	0.00	0.0023	0.00	/	/	30

\* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
(別表第2第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])  
二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。  
I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、2017年5月2日公表。H-3については、2017年5月5日公表。  
NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。  
Sr-90の分析は(財)九州環境管理協会にて実施。

(評価)

全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、Sr-90の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

## 海水中のPu分析結果

### 1. 測定結果：

(データ集約:6/9)

(単位：Bq/L)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+240
福島第一 5,6号機放水口北側(T-1) <sup>3</sup>	2017年4月17日	ND [4.4 × 10 <sup>-6</sup> ]	ND [5.9 × 10 <sup>-6</sup> ]
福島第一 南放水口付近(T-2-1) <sup>2 3</sup>		ND [5.3 × 10 <sup>-6</sup> ]	(6.0 ± 1.7) × 10 <sup>-6</sup>
福島第一 敷地沖合15km上層(T-5) <sup>4</sup>	2017年4月5日	ND [4.6 × 10 <sup>-6</sup> ]	(4.7 ± 1.5) × 10 <sup>-6</sup>
請戸川沖合3km上層(T-D1) <sup>4</sup>	2017年4月4日	ND [4.6 × 10 <sup>-6</sup> ]	(5.0 ± 1.6) × 10 <sup>-6</sup>
福島第一 敷地沖合3km上層(T-D5) <sup>4</sup>		ND [4.9 × 10 <sup>-6</sup> ]	(4.5 ± 1.4) × 10 <sup>-6</sup>
福島第二 敷地沖合3km上層(T-D9) <sup>4</sup>	2017年4月5日	ND [4.9 × 10 <sup>-6</sup> ]	ND [4.4 × 10 <sup>-6</sup> ]
福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲 (平成13年度～平成22年度) <sup>1</sup>		-	ND ~ 1.3 × 10 <sup>-5</sup>

[ ]内は検出限界値を示す

1：出典「平成23年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」  
(福島県原子力発電所安全確保技術連絡会)

2：台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1～4号機放水口から南側に約280m地点(T-2)において試料を採取。

### 2. 分析機関： 3九州環境管理協会 4日本分析センター

### 3. 評価：

2017年4月4日、5日、17日に請戸川沖合3km上層(T-D1)、福島第一敷地沖合3km上層(T-D5)、福島第一敷地沖合15km上層(T-5)、福島第一南放水口付近(T-2-1)において検出されたPu-239+240の濃度は、福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲内であることから、今回の事故に由来するものとは判断できない。

以上

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果

(データ集約：6/9)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水(東波除堤北側)		告示濃度限度* (Bq/L)
試料採取日	2017年5月1日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND(0.55)	-	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.73)	-	60
Cs-137 (約30年)	3.1	0.03	90
H-3 (約12年)	18	0.00	60,000
全	ND(2.0)	-	-
全	18	-	-
Sr-90 (約29年)	0.46	0.02	30

\* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第2第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、2017年5月2日公表。H-3については、2017年5月5日公表。

NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3, Sr-90の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一原子力発電所 海水中のPu分析結果

1. 測定結果：

(データ集約:6/9)  
(単位: Bq/L)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+240
福島第一 1~4号機 取水口内北側海水(東波除堤北側)	2017年4月17日	ND [4.4 × 10 <sup>-4</sup> ]	ND [4.4 × 10 <sup>-4</sup> ]

[ ]内は検出限界値を示す

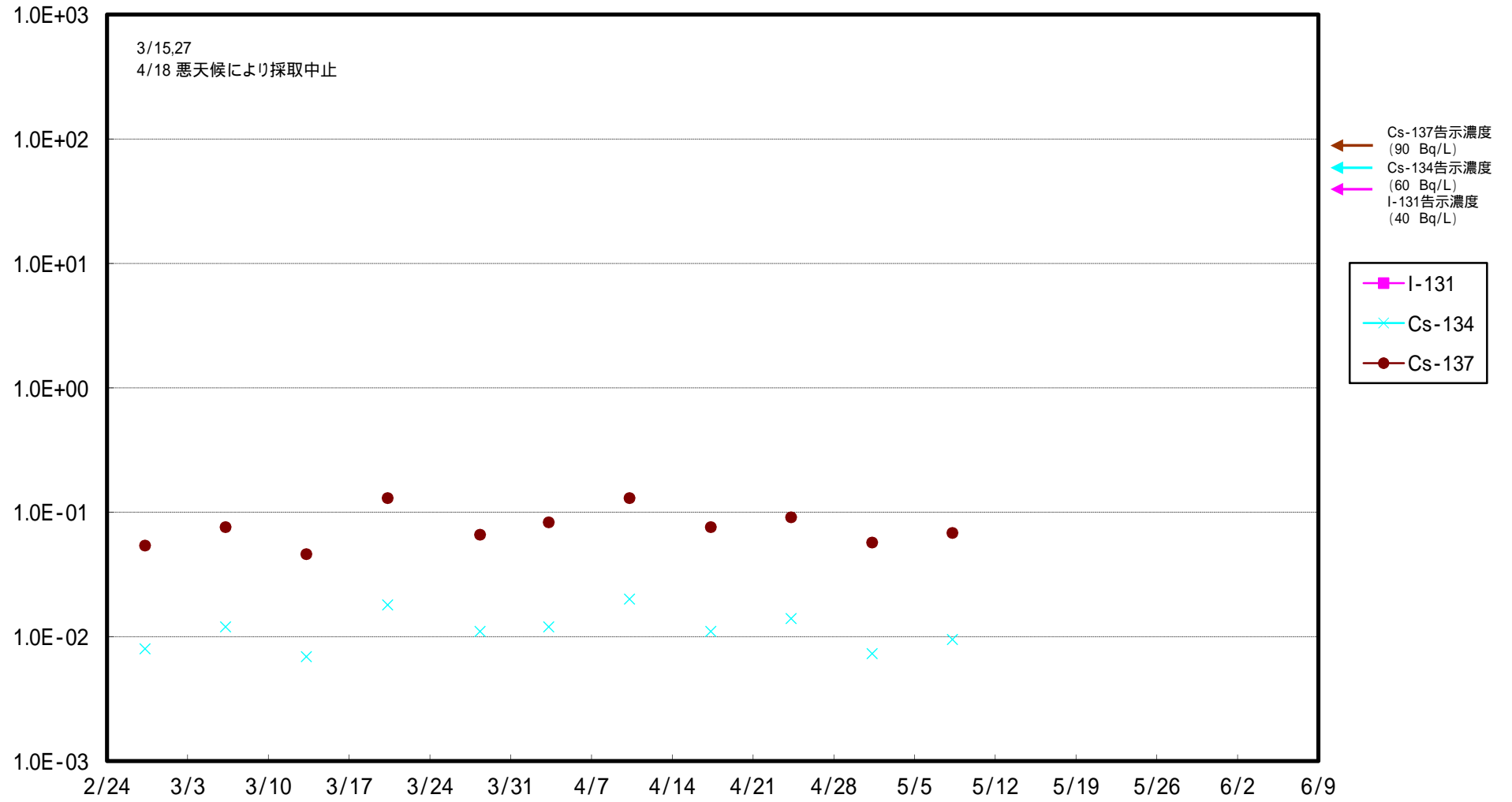
2. 分析機関：日本分析センター

3. 評価：

今回測定した試料からはPu-238, Pu-239+240は検出されなかった。

以上

福島第一 5,6号機放水口北側(T-1) 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 南放水口付近(T-2) 海水放射能濃度 (Bq / L)

